



ご当地 **よ坊さん** 茨城  
**みがかーモン**

# 茨 歯 会 報

No.534

茨城県歯科医師会  
Ibaraki Dental Association

September  
**2013**  
平成25年

9



## Contents

デンタルアイ	1
鈴木潤一	
委員会紹介	3
会務	5
理事会報告	9
会務日誌	11
厚生委員会だより	14
学校歯科保健委員会だより	17
センターだより	20
警察歯科協議会だより	26
専門学校だより	28
地区歯科医師会だより	30
山口深恵	
茨歯アンテナ	32
赤えんぴつ	33

### 表紙写真について

#### 夏の立山（一ノ越山荘近くで撮影）

このごろ8月に立山へ登山に行くことが多くなりました。

体力も昔と比べると落ちているため、機材はデジタルカメラだけにして軽量化しました。

又、山の天気も夏はかなり不安定になってきており、どちらかと言うと歩きながら撮ることが多くなってきました。

この日も朝は好天でしたが昼から雲が出てきたため、なるべく午前中に撮影を終了させることにしました。

(社)東西茨城歯科医師会 小嶋 衛

## 国民医療の今後



副会長  
鈴木潤一

今期も副会長の任を拝命することとなりました。2年間よろしく願いいたします。

歯科医師にとって厳しい状況が報じられてから10年以上経過しております。月収20万円以下のワーキングプア—歯科医に始まり年収の低下は未だ止まる気配はありません。厚労省調査による24年度歯科医の平均年収は679万円の前年度に比べ71万円の減であり（17年度は905万円）、技工士が434万円、衛生士360万円となっております。

政府発表の、平成10年度都道府県民の平均所得は、39都道府県で増加し、最も多かったのは東京都で約440万円、少なかったのは沖縄220万円、茨城は298万円年全国第3位でした。

デフレからインフレに移りつつある状況下の今年度は、更に平均所得の増加が見込まれません。しかし、新政権は企業の経済成長を第一義に考えているようであり、医療関係業界の活性化は期待できそうもありません。

8月上旬、昨年11月から議論されていた政府と厚労省に極めて影響があると推測される「社会保障制度改革国民会議」の報告書が発表されました。同会議には医療関係者は召集されず、日医・横倉会長と日歯・大久保会長は医療関係者の出席を強く申し入れしたのですが、ヒアリ

ングのみでありました。次世代に伝える社会保障改革と謳っているのですが、患者や医療関係団体に厳しい内容になりました。「国民負担増は不可避」とし、年金の支給開始年齢の引き上げ、前期高齢者の負担増（現在日歯会員の平均年齢58歳、2035年に国民の3人に1人が65歳以上に）や、市町村国保の都道府県へ包括移行、国保組合への助成金削減等々厳しい内容となりました。

これを受け、政府は70歳～75歳医療費窓口2割負担を来年度実施し（骨子では14～17年度とあいまいにしている）、介護サービスの自己負担を再来年引き上げる方向で秋の臨時国会に提出する予定であります。この結果医療費自己負担は、年4万円→7万円となる。一方で現役サラリーマンの3人に2人は保険料上昇の可能性もあり、社会保障の充実？と国民負担の増加はやはり連動しているようです。

TPP交渉が毎日報道されておりますが、「国民皆保険の崩壊につながる」と日医・日歯共、政府に慎重な対応を求めておりましたが、「米国は混合診療解禁求めず、公的医療保険制度の変更を求めない。」と述べておりますが、最近、保険の日本郵便とアフラックの提携や、県内に於いて、外資系大型量販店名の新規薬局が

開業しております。医科・歯科に参入してくる可能性も捨てきれません。

来年4月施行を目指す消費税8%増税は、国民も認める所ではありますが、歯科に係わる損税の部分について政府と交渉中であります。

中医協は7月23日の総会で歯科診療報酬を審議し、歯の喪失率の高い歯科疾患に対する対応策を論点として提示してきましたが、日歯堀常

務は基本診療料に関する論点を提示するよう求めました。

厚労省は消費税8%の対応策として、歯科における初・再診料に上乗せすることを提示しています。

今後の議論でどの程度上乗せされるのか、注視して行く必要があります。



*We try best!*  
*For healthy and white teeth*

本 社	〒110-0016 東京都台東区台東2-23-7	TEL 03-3832-8241
水戸支店	〒310-0804 茨城県水戸市白梅2-8-18	TEL 029-225-6543
宇都宮支店	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6	TEL 028-613-5858
松戸支店	〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-366	TEL 047-345-3131
野木支店	〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林384-15	TEL 0280-56-0567



株式会社 岩瀬歯科商会

千葉支店・福島支店・世田谷支店・横浜支店・前橋支店・大宮支店・東大和支店・盛岡営業所

## 委員会紹介

### (1) 学術委員会

			篠塚 浩	(鹿 行)
部 長	岡崎 恵一郎	(水 戸)	鶴屋 誠人	(土浦石岡)
委員 長	杉田 裕一	(日 立)	河野 雅人	(県 西)
副委員 長	鶴見 尚史	(つくば)	初見 謙介	(西 南)
”	今湊 良証	(東西茨城)		
委 員	斉藤 洋一	(珂 北)		
”	上野 卓也	(水 戸)		
”	安藤 和成	(鹿 行)		
”	會澤 臣	(土浦石岡)		
”	河合 弘行	(県 南)		
”	白澤 光二	(県 西)		
”	中井 巳智代	(西 南)		

### (2) 厚生委員会

部 長	千葉 順一	(土浦石岡)
委員 長	飯田 敏行	(西 南)
副委員 長	米川 久	(水 戸)
委 員	和田 勉	(日 立)
”	鈴木 正美	(珂 北)
”	松井 慎太郎	(東西茨城)
”	高野 秀勝	(鹿 行)
”	海老原 康晴	(土浦石岡)
”	吉田 勝幸	(つくば)
”	山田 雄	(県 南)
”	小田島 卓也	(県 西)

### (3) 医療管理委員会

部 長	大字 崇弘	(県 南)
委員 長	山本 健	(珂 北)
副委員 長	飯塚 滋	(つくば)
”	松葉 俊明	(県 南)
委 員	西野 有一	(日 立)
”	鈴木 慶洋	(水 戸)
”	奥田 雅人	(東西茨城)

### (4) 広報委員会

部 長	菱沼 一弥	(つくば)
委員 長	楠美 淳	(鹿 行)
副委員 長	小林 健一	(つくば)
委 員	小松 栄一	(日 立)
”	成井 敏幸	(珂 北)
”	飯島 重樹	(水 戸)
”	石本 崇子	(東西茨城)
”	大木 勝生	(土浦石岡)
”	富田 浩之	(県 南)
”	古橋 仁	(県 西)
”	小野 道範	(西 南)

### (5) 総務委員会

部 長	村居 幸夫	(水 戸)
委員 長	飯野 守康	(水 戸)
委 員	立原 正仁	(日 立)
”	小泉 雄二郎	(珂 北)
”	菊地 長生	(東西茨城)
”	鈴木 信治	(鹿 行)
”	幕内 宏則	(土浦石岡)
”	横張 雅彦	(つくば)
”	麻生 明彦	(県 南)
”	津田 哲	(県 西)
”	三浦 雅美	(西 南)

### (6) 地域保健委員会

部 長	渡辺 進	(県 西)
-----	------	-------

委員長	北見英理	(日立)	委員	渡辺義宏	(日立)
副委員長	柳沢秀樹	(鹿行)	〃	柴岡永子	(珂北)
委員	寺門史郎	(珂北)	〃	木村守隆	(東西茨城)
〃	深谷聖	(水戸)	〃	荻野義重	(土浦石岡)
〃	太田一三	(東西茨城)	〃	佐藤玲子	(つくば)
〃	土屋雄一	(土浦石岡)	〃	藤縄弘之	(県南)
〃	松本敦	(つくば)	〃	鬼澤英二	(県西)
〃	橋村弟子	(県南)	〃	加藤昌裕	(西南)
〃	戒田敏之	(県西)			
〃	佐藤淑朗	(西南)			

**(7) 介護保険委員会**

部長	仲田豊	(東西茨城)
委員長	土子吉久	(東西茨城)
副委員長	田所重映	(日立)
委員	高橋健	(珂北)
〃	神田稔	(水戸)
〃	丸山憲一	(鹿行)
〃	野木隆久	(土浦石岡)
〃	加園真樹	(つくば)
〃	堤浩一郎	(県南)
〃	柴崎崇	(県西)
〃	斉藤英雄	(西南)

**(8) 学校歯科委員会**

部長	長谷部和子	(珂北)
委員長	椎名和郎	(水戸)
副委員長	谷口秀和	(鹿行)

**(9) 社会保険委員会**

部長	榊正幸	(水戸)
委員長	大野勝己	(つくば)
副委員長	酒井一範	(土浦石岡)
委員	黒澤教昭	(日立)
〃	山口昌宏	(珂北)
〃	松尾裕之	(水戸)
〃	長谷哲郎	(東西茨城)
〃	岩間英明	(鹿行)
〃	小原俊彦	(県南)
〃	石浜寛隆	(県西)
〃	森田広	(西南)

**(10) 情報管理委員会**

部長	飯島清人	(県南)
委員	立花成夫	(日立)
〃	大畷哲也	(鹿行)
〃	鈴木健也	(鹿行)

# 会務

## 第153回臨時代議員会会長あいさつ

茨城県歯科医師会 会長 森永 和男

本日は大変お忙しい所、また朝早くから第153回臨時代議員会にご出席頂き誠に有難うございます。公益社団法人の移行に伴い6月に引き続きまして臨時代議員会の開催となりました。この点代議員会の先生方にご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

さて参議院選挙では自民党が過半数を取る勢いですが、ここに来てのTPPの問題、消費税の問題等、問題は山積しております。

どのような参議院議員選挙の結果が出ましても、私たちは国民皆保険崩壊という国の存亡にも係わる医療の危機は絶対に避けなければなりません。そのような意味で、茨城県では4師会を中心に医療関係団体が結束して8月4日に茨城県医師会館にて医療協議会集会を企画し、TPPの問題をテーマに開催する予定です。出来るだけ多くの先生方に参加して頂けるよう、よろしくお願い致します。

前置きが長くなりましたが、6月の第152回代議員会に引き続いての代議員の先生も多数おられると思いますが、なにとぞこの2年間よろしくお願い致します。公益社団法人の移行に伴いまして、連月の代議員会となりました事についてはご理解を頂きたいと思っております。

先程も申しました通り、新たな代議員の元での

最初の代議員会であります。その意味でも今年が更なる飛躍の年になるよう努力して参りたいと思っております。そのため、今期2年間、以下の方向づけを基にし、確立した会の運営をして参りたいと考えております。

1. 機構改革を進める事、中でも開かれた会づくりにこの2年間努めて参りましたが、これらの組織の改変を会員に目に見える形にして行く事。
2. 公益社団法人になった今、県民に信頼される団体となり、茨城県歯科医師会のイメージを上げ、ひいては会員の生活の安定を図る事。
3. 茨城県歯科医師会が会員にとって魅力あるもの、ステータスなものとし、結果的に会員の増強を図っていく事。

以上の事を、しっかりと行ってまいります。

いずれにしましても、茨城県歯科医師会も創立101年を迎え、今年を改革元年と位置づけ新たなスタートを、と考えております。この2年間で着実に「強い歯科医師会」の礎を築き上げて参りたいと思っております。何卒、先生方のご協力、ご指導をよろしくお願い致します、あいさつとさせていただきます。

# 第152回定時代議員会報告

平成25年6月27日（木）午前10時より、第152回定時代議員会が開催された。鈴木副会長の開会の辞、森永会長挨拶に続き、高野連盟会長、大和田顧問弁護士、坂本顧問公認会計士より来賓挨拶をいただいた。高野連盟会長からは、目前に迫った参議院選挙について石井みどり候補の現況の報告と、30万票獲得を目指して会員への更なる協力要請があり、大和田弁護士からは、現県公安委員長として、高齢者の振り込め詐欺被害防止に医療機関の方々にも協力願いたい旨の発言があった。

続いて、報告事項に移り、島田議事運営特別委員長より、平成24年度決算に関する第1号から第13号議案までは一括審議、役員改選に関する第14、15号議案は単独審議とし、選挙の実施時間は午後2時ごろを目安に議長に一任するという報告があった。

鈴木副会長より日歯代議員会報告、征矢専務理事より一般会務報告があり、議事に移った。小林常務理事から第1号から13号議案の平成24年度決算に関する説明があり、質疑の後、すべて原案通り可決承認され、午前中の審議は終了した。

休憩後、事前質問についての質疑が行われたが、午後2時ごろ一時中断し、第14、15号議案の役員改選が選挙管理委員会（高野裕行委員長）の進行のもとに行われた。理事については定員数の16名の立候補があり、各候補者とも代議員の過半数以上の承認を得て新理事に決定した。監事については、定員3名のところ4名の立候補があり、選挙の結果、鈴木伸之氏（40票）、若松進治氏（39票）、色川卓男氏（39票）の3氏が選出された（次点、大峰秀樹氏7票）。また、日歯代議員・予備代議員については、それぞれ定数3名の立候補があり、代議員に森永和男氏、小鹿典雄氏、鈴木潤一氏、予備代議員に征矢亘氏、小林不律氏、村居幸夫氏が承認された。

引き続き事前質問に対する質疑と、会費の定額制移行に関する協議を経て、午後5時ごろ小鹿副会長の閉会の辞をもって全日程を終了した。小鹿副会長からは、今代議員会をもって退任された北澤毅、大金正幸両監事の長年にわたる本会への貢献に対し、謝辞が述べられた。

## 第152回定時代議員会日程

日時 平成25年6月27日（木）午前10時  
場所 茨城県歯科医師会館 会議室

### 氏名点呼

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 開会の辞           | 副会長 鈴木 潤一         |
| 1. 議事録署名人指名       |                   |
| 1. 物故会員黙祷         |                   |
| 1. 会長挨拶           | 会長 森永 和男          |
| 1. 来賓挨拶           | 茨城県歯科医師連盟会長 高野 一夫 |
| 1. 議長挨拶           | 議長 小澤 一友          |
| 1. 報告             |                   |
| (1) 議事運営特別委員会報告   | 委員長 島田 理          |
| (2) 日本歯科医師会代議員会報告 | 日歯代議員 鈴木 潤一       |

## (3) 一般会務報告

専務理事 征矢 亘

## 1. 議 事

- 第1号議案 平成24年度一般会計収支決算に関する件
- 第2号議案 平成24年度共済部会計収支決算に関する件
- 第3号議案 平成24年度保障協会会計収支決算に関する件
- 第4号議案 平成24年度会館管理会計収支決算に関する件
- 第5号議案 平成24年度医療事故処理会計収支決算に関する件
- 第6号議案 平成24年度労働保険事務組合会計収支決算に関する件
- 第7号議案 平成24年度茨城歯科専門学校会計収支決算に関する件
- 第8号議案 平成24年度茨城県身体障害者・小児歯科治療センター会計収支決算に関する件
- 第9号議案 平成24年度茨城県土浦心身障害者歯科治療センター会計収支決算に関する件
- 第10号議案 平成24年度収益事業会計収支決算に関する件
- 第11号議案 平成24年度積立金会計収支決算に関する件
- 第12号議案 平成24年度事業所健診会計・預り金会計収支決算に関する件
- 第13号議案 茨城県歯科医師会財産目録に関する件

## 【監査報告】

- 第14号議案 役員を選任に関する件
- 第15号議案 日本歯科医師会代議員・予備代議員選挙に関する件

## 1. 協議事項

所得割負担金から定額会費への移行について

## 1. 閉会の辞 副会長 小鹿 典雄

## 事前質問

- 1、法人移行について（小林克男議員）
- 2、公益法人について（橋本正一議員）
- 3、次期参議院選挙茨城選挙区候補推薦について（小林克男議員）
- 4、公益法人茨城県歯科医師会の政治活動について（仁平哲夫議員）
- 5、公益法人茨城県歯科医師会と県歯科医師連盟の役割分担と峻別について（青木秀史議員）
- 6、シニア共済の今後について（小林克男議員）
- 7、共済制度について（仁平哲夫議員）
- 8、会員共済についての基本的な考え方（飯塚秀人議員）
- 9、災害時の歯科医療救護の協定締結について（小林克男議員）
- 10、災害時の茨歯会としての対応について（橋本正一議員）
- 11、茨歯報ITの登録状況について（小林克男議員）
- 12、診療報酬改定について（小林克男議員）
- 13、レセプトのインターネット請求は本当に推進すべきものなのか（横須賀均議員）
- 14、森永会長の言われる「強い歯科医師会」について（橋本正一議員）
- 15、がん等周術期口腔機能管理及び糖尿病の医科歯科連携について（黒沢俊夫議員）

## 関東地区歯科医師会役員連絡協議会開催される

8月29日、平成25年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会（当番：千葉県歯科医師会）が、千葉市のホテルニューオータニ幕張においてメインテーマを「医療連携を通じた歯科保健医療の将来について」として開催された。関東地区の各都県より役員、委員など約130名が集まり午前10時30分から千葉県立東金病院院長平井愛山先生の基調講演「顔の見える医科歯科連携の構築—地域の糖尿病治療と歯周病治療を結ぶ—」が開催され、続いて午後1時10分から2時40分まで分科会、午後2時40分から全体協議会が開催された。

分科会は、第1分科会（時局問題について）、第2分科会（大規模災害について）、第3分科会（医科歯科連携について）、第4分科会（生涯に

亘る歯・口腔の健康づくりについて）の4つに分かれ、意見交換、協議を行った。内容は後述の分科会報告をご覧ください。

全体協議会は斎藤千葉県歯科医師会長の挨拶の後、退任役員記念品贈呈、来賓挨拶（森田千葉県知事、大久保日本歯科医師会長、高木日本歯科医師連盟会長、清水日本学校歯科医会長）、来賓紹介と続き、次期当番県は茨城県と決定した。続いて、議長に斎藤千葉県歯科医師会長、副議長に森永茨城県歯科医師会長が選出され、前年度協議会処理報告は神奈川県、分科会報告は千葉県が報告し、協議では、日歯へ要望書を提出することが決定された。



# 理事会報告



## 第6回理事会

日時 平成25年8月22日(木) 午後4時

場所 茨城県歯科医師会館 役員室

### 1. 報告

(1) 一般会務報告

(2) 退会について

退会年月日	氏名	事由	地区
H25.7.24	宮田 要二	死亡	つくば
H25.8.15	関本 英雄	死亡	県南

(会員数 1,324名)

(3) 後援依頼について

茨城県介護・リハビリテーション施設研修会

認知症フォーラムinいばらき

いばらき歯科医療フォーラム

(4) 各委員会報告について

厚生委員会、医療管理委員会

### 2. 協議事項

(1) 入会申込書の受理について

舟久保 立氏(茨城つくば)、間 美葉(東西茨城)の入会を受理した。

(2) 後援依頼について

茨城県保健福祉部より依頼のあった「茨城がん学会」への後援依頼について承認した。

(3) 後援依頼について

茨城県保健福祉部より依頼のあった「第15回臓器移植推進国民大会」への後援依頼について承認した。

(4) 災害歯科医療に関する東日本大震災関連調査への協力について

神奈川歯科大学より依頼のあった標記について、役員含め協力することとした。

(5) 寄付金のお願(いばらき腎バンク)

昨年同様30,000円を寄付することとした。

(6) 長寿祝金、白寿記念品について

①長寿祝金 終身会員となってから5年を経過した者(祝金10万円)

柴岡 正規氏(珂北)、岩上 滋氏(鹿行)河原 茂行氏(鹿行)、枝 憲司氏(茨城・県西)中根 翠氏(茨城西南)に祝金を贈呈することとした。

②白寿会 平成24年度に終身会員となった者(会員30年以上で70才以上)

前山 慶子氏(日立市)、清水 湊氏(珂北)、丸山 宇一氏(水戸市)、出久根 賢氏(東西茨城)、大槻 武一郎氏(鹿行)、保科 博邦氏(鹿行)、山添 雅夫氏(茨城県つくば)、徳永 一充氏(茨城県つくば)、宮田 昌幸氏(茨城県つくば)、斉藤 澄夫氏(茨城県南)、小林 一彦氏(茨城・県西)、関口 啓子氏(茨城西南)に記念品(オムロン体重体組成計)を贈呈することとした。

(7) 第52回全国学校保健優良校の表彰について 標記について次の4校を日本学校歯科医会へ推薦することとした。

ひたちなか市立前渡小学校、北茨城市立磯原中学校、稲敷市立太田小学校、五霞町立五霞西小学校

(8) 口腔センター運営委員会について

標記委員会の規程改正について承認した。

(9) 茨城県総合リハビリテーションケア学会か

らの一般演題発表協力依頼について

標記について、承認した。

- (10) 口腔ケアベーシック講習会講師謝礼について  
標記謝礼について、講師、助教扱いとすることとした。
- (11) 平成25年度HIV医療講習会の実施について  
標記講習会について、歯科医学会の中で行えるよう調整することとした。
- (12) 平成25年度災害コーディネーター研修会開催について  
標記研修会について、2014年2月23日予定とした。
- (13) 講習会における、懇親会宿泊費用について  
現行の内規に従うこととした。
- (14) 茨城県歯科医師税務協議会委員について  
委員の人選について会長一任とした。
- (15) 平成25年度茨城県肝炎対策協議会委員の推薦について  
引き続き村居常務理事を推薦することとし

た。

- (16) 歯の健康力推進歯科医師等養成講習会について  
標記講習会について、会員に広く広報することとした。
- (17) 代議員、委員等の交通傷害保険について  
標記について、本年度からすべて契約しないこととした。
- (18) 予備委員の選出について  
特例についてはその都度、理事会で協議することとした。
- (19) 山口県への災害見舞金について  
標記見舞金を送ることとし、金額は会長一任とした。
- (20) 第2種会員の会費減免制度について  
県歯においては利点がないため現行どおりとし、会費の見直し時期に検討することとした。

## アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

所得保償保険

自動車保険

火災保険

小規模企業共済制度

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

# 会務日誌

- 8月22日 第7回歯科助手講習会を開催。「歯科技工」「技工材料の取扱い」について講義を行った。  
受講者 66名
- 8月22日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が茨城県市町村会館にて実施された。  
対象医療機関数 2
- 8月22日 第5回広報委員会を開催。会報7・8月号の校正、会報9月号の編集、歯科コラム、会報新企画、歯の健康フェスティバルについて協議を行った。  
出席者 菱沼広報部長ほか10名
- 8月22日 第4回地域保健委員会を開催。高齢者よい歯のコンクール受賞候補者選出・受賞候補者訪問インタビュー、歯科保健賞候補者選出、酸蝕症特殊健診、フッ化物活用事業について協議を行った。  
出席者 渡辺地域保健部長ほか10名
- 8月22日 第6回理事会を開催。入会申込書の受理、後援依頼（茨城がん学会・第15回臓器移植推進国民大会）、災害歯科医療に関する東日本大震災関連調査への協力（神奈川歯科大学）、寄付金のお願い（いばらき腎バンク）、長寿祝金・白寿記念品、第52回全国学校保健優良校の表彰、口腔センター運営委員会、茨城県総合リハビリテーションケア学会からの一般演題発表協力依頼、口腔ケアベーシック講習会講師謝礼、平成25年度H I V医療講習会の実施、講習会における懇親会宿泊費用、茨城県歯科医師税務協議会委員、平成25年度茨城県肝炎対策委員会の推薦、歯の健康推進歯科医師等養成講習会、代議員・委員等の交通傷害保険、山口県への災害見舞金、第2種会員の会費減免制度について協議を行った。  
出席者 森永会長ほか18名
- 8月22日 臨床実習講師会を茨歯会館にて開催し、平成25年度臨床実習について協議を行った。  
出席者 小鹿学校長ほか44名
- 8月24日 警察歯科医会全国大会が「これからの身元確認について考える～東日本大震災を踏まえて～」をテーマに福島県郡山市にて開催され、特別講演、パネルディスカッション、及びポスターセッションが行われた。  
出席者 森永会長ほか10名
- 8月27日 水戸口腔センターの摂食嚥下研修会として今年度は全6回を企画。その第1回研修会として「食べるための構造とメカニズム」について研修を行った。  
受講者 109名
- 8月29日 関東地区歯科医師会役員連絡協議会が千葉市のホテルニューオータニ幕張にて開催される。本年度のメインテーマは「医療連携を通じた歯科保健医療の将来について」と設定さ

れ、「顔の見える医科歯科連携の構築—地域の糖尿病治療と歯周病治療を結ぶ—」についての基調講演の後に、第1分科会（時局問題）、第2分科会（大規模災害）、第3分科会（医科歯科連携）、第4分科会（生涯に亘る歯・口腔の健康づくり）に分かれテーマに沿って協議が行われ、その後は全体協議会が行われた。

出席者 森永会長ほか9名

8月29日 保険医療機関を対象とした個別指導が茨城県市町村会館にて実施された。

対象医療機関数 6

9月4日 第2回社会保険委員会正副委員長会議を開催し、第3回社会保険委員会、指導対策、個別指導時の持参物の変更、予備委員の今後の委員会出席について協議した。

出席者 小鹿副会長ほか3名

9月4日 第3回社会保険委員会を開催し、合同協議会、個別指導時の持参物の変更、社会保険指導者研修会、審査委員連絡協議会、次回開催予定日について協議を行った。

出席者 小鹿副会長ほか11名

9月4日 第4回厚生委員会を水戸市内にて開催。第35回親善地区対抗ゴルフ大会の運営、歯と口の健康フェスティバルの着ぐるみの手配・企画、防災マニュアルについて協議を行った。

出席者 千葉厚生部長ほか8名

9月5日 第35回親善地区歯科医師会対抗ゴルフ大会を宍戸ヒルズカントリークラブにて開催。団体戦の結果は土浦石岡歯科医師会が優勝、準優勝は鹿行歯科医師会、3位は茨城西南歯科医師会となった。個人戦では小川修二氏（県南）が優勝、準優勝は米川久氏（水戸）、3位は千葉順一氏（土浦石岡）であった。

参加者 123名（会員114名、招待者ほか9名）

9月5日 第8回歯科助手講習会を開催。「共同動作」、「保存修復」、「歯冠修復」、「有床義歯」、「口腔外科」について講義を行った。

受講者 63名

9月5日 第1回センター運営委員会が開催され、茨城県障害児者歯科診療推進会議（仮称）の設立について協議が行われた。

出席者 森永センター運営委員長ほか10名

9月5日 第3回学術委員会を水戸市内にて開催。シンポジウム、茨城県歯科医学会、エイズ予防財団、がん医科歯科連携医療講習会について協議を行った。

出席者 岡崎学術部長ほか10名

9月7日 百里基地航空祭特別公開及び祝賀会が小美玉市の百里基地で行われた。

出席者 森永会長

9月7日 茨城県病院歯科医会の第2回総会が土浦市の県南生涯学習センターで開催される。会員病院近況紹介等が行われた後、口腔・顔面領域の痛みの診断と脳外科治療について水戸ブレインハートセンター脳外科医の畑山徹先生が講演された。

出席者 森永会長ほか1名

9月7日 第2回介護保険委員会が神栖市で開催され、翌日の講習会運営について協議した。

出席者 仲田介護保険部長ほか10名

9月 8日 口腔ケアベーシック講習会を神栖市保健センターにて開催。「認知症の食を支える基礎知識」をテーマに東京都健康長寿医療センター研究所の平野浩彦先生が講演された。

受講者 63名

9月12日 歯の衛生に関するポスターコンクールの第一次審査を茨歯会館にて実施。全県下の小・中学校より集まったポスター826点に対して審査を行い、各保健所管内にて小学校5点、中学校3点の作品を第二次審査会に向けて選出した。

出席者 長谷部学校歯科部長ほか10名

9月12日 第3回学校歯科委員会が開催され、県民歯科保健大会準備・スケジュール等確認、学校歯科保健研修会の反省、よい歯の学校表彰評価基準、歯・口の健康啓発標語コンクール要項、マウスガード講習会、日立市教育委員会の学校検診結果集計について協議を行った。

出席者 長谷部学校歯科部長ほか10名

9月12日 保険医療機関に対する個別指導が関東信越厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 6

9月12日 第174回日歯臨時代議員会が日歯会館にて開催される。日歯代議員会議長及び副議長の選挙、予算決算特別委員会委員の承認、議事運営特別委員会委員の承認について審議が行われた。

出席者 森永日歯代議員ほか2名

9月12日 「日本歯科医師会創立110周年を祝う会」が恒例の日歯会・日歯連盟役員就任披露パーティーと併せてホテルニューオータニにて開催された。

出席者 森永会長ほか2名

9月13日 総合防災訓練に向けての第2回会議が笠間公民館にて行われ、訓練実施要領(案)、訓練実施細目(案)等について説明が行われた。

出席者 村居常務ほか1名

## 第46回 関東地区 歯科医師親善ゴルフ大会

(社) 水戸市歯科医師会 薄井 稔

7月25日(木)山梨県を含めた関東1都6県の計8都県の参加によるゴルフ大会が開催されました。

今年の当番は神奈川県、コースは男子プロトーナメント開催コースとして知られる戸塚カントリー倶楽部です。開催日が真夏という事で全員が相当な暑さを覚悟し万全の熱中症対策で大会当日を迎えましたが(私は、冷感下着、氷を作れるスプレー、500mlペットボトル6本を持参しました)、大会当日は蒸し暑さはあったものの朝から曇り空で殆んど太陽が顔を出す事が無く有り難いコンディションとなりました。

コースはトリッキーでバンカーが多くラフが深い状態でしたが、最も悩まされたのは非常に遅いグリーンでした(打っても打ってもカップ迄届きませんでした)。

団体戦は、一般7名とシニア3名の上位10名のグロス合計によって決定されます。

茨城県は8チーム中5位というちょっと微妙な順位でしたが、3位東京都とは僅か4打差でした。来年こそ、全員で3位入賞を目指します!

個人戦は、千葉先生がベストグロを獲得!流石です。新ペリアでの順位は、一般は草野先生9位、大寄先生10位、茶園先生30位、野田先生70位。シニア・役員では、若松先生8位、山本先生25位、臼井先生40位、大内先生45位でした。

来年は山梨県が当番県で、5月末に富士桜カントリー倶楽部での開催が予定されております。



2013.7.25(木)  
戸塚カントリー倶楽部

		茨城県 (敬称略)				
	No	氏名	OUT	IN	グロス	順位
シニア	1	山本理一郎	43	46	89	5
	2	村居 幸夫	40	42	82	2
	3	荒野 実	37	41	78	1
	4	若松 理	41	41	82	2
	5	小川 修二	44	43	87	4
一般	1	茶園 基史	36	41	77	2
	2	草野 廣幸	39	45	84	9
	3	岡 和隆	42	42	84	9
	4	安藤 進平	43	45	88	12
	5	平尾 修	43	42	85	11
	6	沼田 裕之	41	41	82	4
	7	千葉 順一	35	39	74	1
	8	薄井 稔	41	42	83	5
	9	増本 章典	43	40	83	5
	10	大寄 哲也	44	39	83	5
	11	吉田 勝幸	40	43	83	5
	12	野田 直之	40	39	79	3
	13	高野 秀勝	45	46	91	13
TOTAL			803			
役員	1	臼井 健祐	43	46	89	
	2	大内 肇	44	48	92	
	3					
	4					
	5					

### 団体戦順位表

順位	地区	グロス
1位	埼玉県	782
2位	神奈川県	792
3位	東京都	799
4位	栃木県	801
5位	茨城県	803
6位	群馬県	818
7位	千葉県	827
8位	山梨県	873

団体戦は上位10名のグロス合計により決定する。  
但し、昭和28年12月31日生まれ以前の者3名以上を含むものとする。

# 第35回茨城県歯科医師会 親善地区対抗ゴルフ大会

厚生委員会 海老原 康晴

平成25年9月5日（木）宍戸ヒルズカントリークラブにて、森永会長にもご出席いただき、110名の参加者のもと、毎年恒例の茨城県歯科医師会親善地区対抗ゴルフ大会が開催されました。

前日から天候が悪く、予報では大雨、雷と最後までプレーできるか心配でした。当日は午前中はやはり雨の中でのプレーとなりましたが、午後からは晴れ間も見え、何とか全員無事プレーすることが出来ました。

コースは雨が降っていた割には、グリーンは速く、難しいラウンドでしたが、やはり強者ぞろいの茨歯会、好スコアで回った先生方も多かったようです。

表彰式では、豪華賞品も多く、獲得した先生方は喜んで頂けたのかなと思います。また、森永会長より会長賞としてバカラのペアグラスをご提供頂き、全員でじゃんけんをして、最後まで勝ち続けた西南地区の川俣光司先生が見事賞品をゲットしました。

ご参加いただいた先生方のおかげをもちまして、非常に盛り上がり、また無事盛大に大会を終えることが出来ました。本当に有難うございました。

また、来年も多数の先生方のご参加をよろしく願いいたします。

## 団体戦結果

優 勝	土浦石岡地区	400ストローク
	千葉 順一	75
	茶園 基史	80
	高野 俊行	80
	鈴木麻里子	82
	海老原康晴	83

準優勝	鹿行地区	406ストローク
	大寄 哲也	73
	草野 広幸	79
	荒野 実	81
	安藤 進平	85
	高野 秀勝	88
3 位	西南地区	425ストローク
	飯田 敏行	78
	若松 理	79
	渡辺 潔	86
	安喰 昭浩	89
	高野 潔	93
4 位	つくば地区	
5 位	珂北地区	
6 位	県南地区	
7 位	日立地区	
8 位	水戸地区	
9 位	県西地区	
10 位	東西茨城地区	

## 個人戦結果

優 勝	小川 修二	NET 69.4
準優勝	米川 久	NET 69.8
3 位	千葉 順一	NET 70.2
4 位	伊藤 雅彦	NET 71.0
5 位	本間 雅彦	NET 71.2

## ベスグロ

1 位	大寄 哲也	73 (37.36)
2 位	千葉 順一	75 (36.39)
3 位	米川 久	77 (39.38)
	薄井 稔	77 (37.40)



個人戦優勝 小川修二先生



ベストグロス 大寄哲也先生



団体戦優勝 土浦・石岡地区



団体戦準優勝 鹿行地区



団体戦3位 西南地区



乾杯 高柳辰美先生

## 第64回関東甲信越静学校保健大会報告

平成25年8月1日

於 ハイアットリージェンシー東京

学校歯科委員会 椎名 和郎

1. 目的：幼児・児童・生徒の心と体の健全な発育・発達を目指し、健康教育の当面する課題について研究協議し、その具体的な方策を究明するとともに、健康教育の充実と発展に資する。
2. 主題：「心と体をはぐくみ、未来をひらく健康教育」
3. 主催：東京都教育委員会、（一財）東京都学校保健会、（公財）日本学校保健会



### 全体会

1. 開会式
2. 特別講演

演題「ゆっくり動くと健康になる」

講師 順天堂大学医学部教授 小林 弘幸 先生

- ・本当の健康とは、良質な血液が細胞の一つ一つに十分に届いている状態。
- ・交感神経系が高まると血管が収縮するので十分に血液が流れなくなる。
- ・自律神経の交感神経系と副交感神経系のバラン

スを整えることが重要。

- ・交感神経系が高まると、不眠・口内炎・下痢などがおこる。また怒りやすくなる。
- ・怒ることは自律神経のバランスを崩すので、怒らない方がよい。怒りを感じたら口角をキュッと上に上げるだけでも怒りを静める効果がある。
- ・自律神経を鍛える方法として、バイオフィードバックトレーニング、呼吸法、ヨガなど。
- ・血液の質をよくするためには、腸内細菌を整えることが大切。乳酸菌（ヨーグルトなら1日200gくらい）、食物繊維、納豆菌（腸内の悪玉菌を抑える働きがある）を摂るとよい。
- ・「ゆっくり生きれば遠くまで行ける」呼吸を止めない。夜歯みがきするときにゆっくり歯ブラシを動かしてみると、呼吸を意識できる。

### 班別研究協議会 第4班【学校歯科保健】

課題：生活習慣病の予防等を目指した歯・口の健康づくり

協議内容：

1. 歯・口の健康づくりの日常化を目指す学校歯科保健指導の在り方
2. 家庭及び地域社会との連携による歯科保健活動の在り方

提案Ⅰ 歯・口の健康づくりの日常化を目指す学

## 校歯科保健指導の在り方

—ウエル嚙む！歯と歯肉の健康 いい顔  
いい友 いい学校—

静岡県浜松市立萩丘小学校  
養護教諭 橋本 協子

## ＜取り組みのねらい＞

- ・う歯や歯肉炎の罹患率の高く、治療率は70%を下回っていた。
- ・給食後の歯みがきの習慣づけができていない。
- ・歯と歯肉に関心をもち、自主的に歯と口の健康づくりに取り組む児童の育成を目指した。

## ＜実践の内容＞

(1) 学校保健週間：浜松市学校保健会主催の学校保健週間で、歯と歯肉の健康を取り上げることにより、児童と保護者、教職員の意識向上を図った。

- ①実態把握のための事前アンケート（全校児童対象）
- ②生活リズムチェックカード配布
- ③昼の放送（歯の役割、教職員の歯にまつわるエピソード等）
- ④スタンプラリー（「かみかみメニュー」についてのクイズ等）

(2) 学校保健委員会の取組

- ①学校保健委員会（学校歯科医との連携）
- ②事後アンケートによる意識調査の実施（5・6年生）
  - 1回目（1ヶ月後）
    - ・歯と歯肉を大切にしようとして実行している68%
    - ・気をつけようとおもっているが実行していない12%
    - ・以前と変わっていない20%
  - 2回目（半年後）
    - ・歯によいことを実行している子77.7%

(3) 保健指導の実践

- ①歯垢染色およびブラッシング指導の実施

（2・4年生対象）

②中学校との連携（6年生を対象に中学校の養護教諭と協力して講話）

③家庭、地域への発信（保健便り）

## ＜成果と課題＞

- (1) 成果について：給食後の歯みがきをする児童が増加。歯ブラシ持参に協力する保護者、教室で給食後の歯みがきを励行させる学級担任の意識向上。
- (2) 今後の課題について
  - ①日常化へつなげるための取り組み
    - ・保護者の協力を得るため、歯みがきカレンダーの配布
    - ・歯みがき指導の実施時期を年間計画に位置づける。
  - ②水道場の効率的な使用および、衛生維持

提案Ⅱ 生活習慣を意識した歯と口の健康づくり  
—家庭および地域の特性を生かした歯科保健活動の実践から—

神奈川県川崎市立麻生中学校  
養護教諭 滝澤 麻子

## ＜実態及び課題＞

- ・保護者や地域の協力もあり、とても恵まれた環境
- ・全体的に健康に対する意識は高く、歯みがきの習慣は定着している
- ・定期的に検診を受けている生徒も多く、歯科に関する意識が高い
- ・歯肉、歯垢や歯列咬合では要注意者が多くおり、歯みがきの仕方や食事内容、食習慣に関する課題があるのではないかと考えられる

## ＜健康教育の実践内容＞

(1) 健康教育の実践

「健康な身体を作るためには、食生活、その元になるのは健康な歯」ということから、学

校歯科医、養護教諭が歯科保健指導に取り組む。

(2) 歯科検診時の指導

歯科検診時に生徒は歯ブラシ持参で検診を受け、学校歯科医はその場で必要な指導をする。

(3) 学校歯科医によるブラッシング指導

学校歯科医と養護教諭のチームティーチングでのブラッシング指導

(4) 歯科保健・食に関する指導

「噛むことについて考えよう～噛むことからからだの健康を考えよう～」

(5) 生徒保健委員会の取組

- ・啓発標語、ポスターの呼びかけ、文化祭での舞台発表、掲示発表。
- ・アンケート調査の結果をまとめ「麻生中生の1日」としてビデオ発表。

(6) 学校保健委員会における取組（年1回）

- ・学校保健年間計画の共有、生徒の実態報告、学校医・学校歯科医による講話。
- ・学校保健委員会報告を作成し各家庭に配布

(7) 近隣の小学校との連携

小学校で行われている保健指導の内容について情報交換。それに合わせた指導内容の工夫。



<結果・成果>

- ・昼食後の歯みがきをする生徒の増加。特に特別支援学級生徒の歯みがき習慣の定着
- ・平成25年度のDMFT指数0.13

<課題>

- ・全体にむし歯は少ないが、毎年数名の生徒はむし歯が残ったまま悪化させるので、今後も一層働きかけの工夫をしていきたい。
- ・歯周疾患の疑いのある生徒も増加傾向にあるので、指導の改善をしていきたい。

**歯科職域部会**

講演 東京都児童・生徒の大規模味覚感受性調査から見えること

講師 東京歯科大学 生理学講座

講師 澁川 義幸 先生

東京都学校歯科医会・学術委員会を中心に、園児から高校生までの約1,000名を対象に行った、旨味・甘味感受性調査の結果から、東京都児童・生徒の旨味・甘味閾値の成人基準値との比較、これらと体格指数との関連、口腔内環境との関連解析について発表がありました。

この詳しい内容につきましては、今年度中に冊子が出るそうですので、そちらをご覧ください。





## 歯科衛生士科学生の口腔センター相互実習報告

茨城県身体障害者小児歯科治療センター  
茨城県歯科専門学校

野村 美奈, 鈴木 哉絵, 鬼澤 璃沙, 関口 浩  
村居 幸夫, 征矢 亘, 小鹿 典雄, 森永 和男

### はじめに

当センターでは、平成24年度より歯科衛生士科3学年の口腔センターでの相互実習を担当している。この実習は、臨床実習に出てから基礎に戻って知識・技術等を再確認することを目的に実施した。

実習方法は、歯科衛生士科3学年53名を、9～12名の4班に編成し、3人1組で、術者、アシスタント、患者のそれぞれの役割を実習した。当センター歯科衛生士3名が実習を担当し指導を行った。

実習に入る前に、口腔内写真で症例検討を行い、口腔内の見方や実習内容についての要点を確認しオリエンテーションを行った。

実習内容は聞き取りをしながら問診内容の確認を行い、口腔内観察・口腔診査、染め出しをしてのブラッシング指導、プロービング、超音波、手用スケーラーによるスケーリングで歯面への当て方、次いで、歯面研磨、保健指導を行った。

実習終了後は問診票、口腔内・歯周診査記録、実地指導内容をもとにフィードバック表の記入、カンファレンスにて振り返りを行った。

実習後に学生にアンケート調査を行い、実習内容の集計および検討を行ったので報告する。



問診（聞き取り）

口腔内診査

### アンケート集計結果

無記名で記入 衛生士科3学年53名

#### 1. この実習を受講する目的は何ですか。 (複数回答可)

歯科衛生士として必要な実習であるから	45
臨床実習に望む上で理解しておきたいから	44
患者さんへの対応等に役立つから	43
学校内で習得しなければならないカリキュラムだから	13
よくわからない	0
その他	1

#### 【その他の意見】

- ・臨床実習では出来ないことなので、経験が積めました。

#### 2. 事前のオリエンテーションや画像資料が、実習の理解を助けていると思いますか。

そう思う	48
どちらかと言えばそう思う	5
どちらとも言えない	0
あまりそう思わない	0
そうは思わない	0
その他	0

### 3. 教員の説明の仕方は、分かりやすいですか。

そう思う	50
どちらかと言えばそう思う	3
どちらとも言えない	0
あまりそう思わない	0
そうは思わない	0
その他	0

### 4. この実習で教員は、学生をサポートするなど気を配っていましたか。

そう思う	50
どちらかと言えばそう思う	3
どちらとも言えない	0
あまりそう思わない	0
そうは思わない	0
その他	0

### 5. あなたはこの実習を熱心に取り組みましたか。

そう思う	43
どちらかと言えばそう思う	10
どちらとも言えない	0
あまりそう思わない	0
そうは思わない	0
その他	0

### 6. この実習を行って、自分の考え（知識）が広がったと思いましたか。

そう思う	48
どちらかと言えばそう思う	5
どちらとも言えない	0
あまりそう思わない	0
そうは思わない	0
その他	0

### 7. この実習を行って、臨床実習に取り組む姿勢が変わったと思いますか。

そう思う	45
どちらかと言えばそう思う	6
どちらとも言えない	2
あまりそう思わない	0
そうは思わない	0
記入なし	0

#### 【7. の取り組む姿勢が変わった理由】

- ・自分の分かっていないところが分かり、実習所で見学するところが分かった。
- ・出来る事を1つでも増やして、自信を持ってできるようになりたいと思いました。（複数）

- ・バキュームのコツなどがよくわかった。実習でも実践してみたいと思いました。
- ・毎日出来る事を1つずつ増やしていけるようにして下さいという言葉で変わったと思います。
- ・治療の流れや回りをよく見て行動するようにしたい。
- ・毎日同じことの繰り返しではないので、毎日来る患者さんは違い、口腔内も違うのでしっかりにか1つ以上は学んでいきたいと思いました。
- ・アシスタント業務において大切なことに気づく事ができた。
- ・アシスタントをしてもこれからこの患者さんはどんな治療をするのか考えようと思いました。
- ・見方が変わり、実習に取り組む姿勢が変わりました。
- ・どのような所に注目して見学したら良いかなどを考えるようになりました。
- ・臨床実習でセメントの練り方やDHの方のポジションなどを見て、今回できなかったところを学びたいと思いました。
- ・創造力をもって、知識を深めたいと思ったから。
- ・色々考えて実習しようと思いました。
- ・今、何をしているのか、次に何を行うのか考えて行おうと思った。先を読んで行動したい。
- ・今までと違うところが見られたように思えてとても実習に対しての見方が変わりました。
- ・これから気をつけていこうという気持ちで、モチベーションに変化があったと思いました。
- ・今までも頑張ってきたし、これからも頑張ろうと思う。
- ・自分の反省点を含め、患者さんの気持ちを理解して向上していきたい、取り組んでそのように思った。
- ・患者の気持ちを理解することができたから。（複数）
- ・患者さんを実際に行えて、不快なことなどを実感することができました。

- ・患者さんの気持ちになってわかったことがあり、衛生士さんはどのような気遣いをしているのかなど気になりました。
- ・患者の気持ちをもっと理解することができ、知識をつけるための取り組み方をもっと自分の身になるためにできるように。
- ・自分がやるべき課題をより明確に出来たから。
- ・歯科衛生士さんを参考にして、自分が今日できなかったところを補いたいから。
- ・歯科衛生士さんの対応を良く見て、自分だったらと想像しながら見学しようと思いました。



ブラッシング指導

スケーリング

#### 8. 今後の実習に、参考にしたいと思いたいで、何でも感じたことを書いて下さい

- ・プロジェクターを使っただけの実習でとても勉強になりました。臨床では出来ないことを衛生士の仕事を通してできたので良かったです。
- ・先生方がしっかりと見て下さったので、とても嬉しかったです。ほめて下さり、もっと頑張ろうという気持ちになることができました。
- ・1日1個出来る事を増やそうと思った。
- ・普段の実習では自分が患者さんに触れる事が出来ないの、相互実習が出来るのは、自分の足りない所や出来ないことの再確認が出来たことと、練習が出来たのでとても良かったです。
- ・学校の授業だけではわからないことや、応用したテクニックなど教えていただいたので、とても自分のためになったと感じた。
- ・とても良い。自分のためになる実習でした。  
(複数)
- ・3年生になって相互実習等が減ったので、患者さんの気持ちを改めて感じる事が出来てよかったです。
- ・患者さんの気持ちになって学ぶことができた。
- ・自分が出来ていないところを見つける事が出来たので良かったと思います。
- ・とても分かりやすかったです。ただ時間が短かったのもっと長く行いたいと思いました。
- ・実習所では出来ないことを行い、見学していても今はどういう状況か分かりやすくなった。とても大事な実習だと思った。
- ・声かけの大切さを学ぶことができた。
- ・臨床実習でなにげなく行っていました、今日の実習で術者や患者さんの考えなど気付けたので、意識したいです。
- ・始めと終わりの時間が決まっているのではなく、その中でも時間が割り振られていたので時間も意識しながら行うことができてよかったですと思う。
- ・もう少し時間があつたらよかったです。時間が足りなかった。
- ・時間配分が5分のところがあつて全て終わらないので、もう少し考えた方が良かったと思います。
- ・相互実習は学校の授業でも行いますが、大人数なので細かく指導はもらえないので、少人数によるこのような実習はとても勉強になると感じました。
- ・実習期間中に改めて、スケーリングやポリッシングを入れていただけると、自分がどのくらい今出来ているのか確認できて良いと思いました。
- ・バキュームに関してすごく勉強になったので、続けて教えてほしいと思いました。
- ・自分が思っている以上に出来ないことが多くみられ、それを教えて下さったので楽しい実習でした。
- ・久々に口腔内を触ったので、ぎこちなかったと思いますが、とても良い機会になったと思いま

す。改めて自分のできていないところなどがはっきりと分かったので、実習先の衛生士さんを良く見て、技術を盗みたいと思いました。

- ・1人の持ち時間もきちんとして、先生が必ずみているので、自分の出来ていないところを指導してくれるととてもわかりやすかった。
- ・出来ないことが多かったのもっと練習しなければいけないと思いました。
- ・超音波スケーラーをする機会はあまりなかったので、とても良い経験になった。また患者さんの口腔内をよく観察することの大切さなども学べた。
- ・スケーリングの仕方やプロービングなどわかりやすく教えて下さり、今後の実習に活かしていこうと思いました。
- ・実際に行ってみて、患者さんの思っていることなどを言ってもらえたので、今後注意していきたいと思いました。
- ・臨床実習やこれから役立つ実習だと思いました。
- ・臨床実習の中でももう少し前にこの実習をすることで、取り組む姿勢が変わると思いました。
- ・もっと多くこの実習をやってほしかったと思いました。臨床に入る前や入ってからなどで行えたら、もっと気持ちの持ちようが違ったかもしれません。
- ・もっとたくさんアドバイスが欲しかったです。特に技術面には不安があるので、良くできている点、ダメな点を細かく指摘してほしいと思った。
- ・教員それぞれの方が何度もアドバイスしてくださったので、より理解することが出来た。また、説明だけではなく実際の当て方も教えていただいたので、良かったと思います。
- ・とても良い勉強になったし、良い経験が出来ました。今回の反省を活かしたいです。
- ・臨床の場に出てしばらくたった自分の癖などを今のうちに確認できた良い機会だと思いました。



歯科衛生士による指導の様子

- ・臨床で活かせる事を沢山教えてもらうことができた。
- ・自分で実際に行うことで、出来ないこと、直さなければならないことを教えていただけるので学ぶことができた。
- ・プロービングの時間がもう少しあると良いと思いました。
- ・保健指導の仕方など、まとめ方を教えてほしい。
- ・今も社会人になってからも、常に勉強だと思うのでしっかり頑張りたいと思います。
- ・患者さんの立場になりアシスタントに入る。オリエンテーションで今まで気付かなかったことなど知れたし、口腔内全体をみる事が改めて分かった。
- ・1回ではなくもう少し期間を空けて実習を行いたかったと思います、とても勉強になりました。
- ・1つ1つ丁寧に教えて頂いて、「出来てるよ」などの励ましがとても嬉しかったので、とてもやる気ができました。
- ・時間配分が少し早く感じました。
- ・姿勢やポジションについて、実際に働いている人からの意見が聞けてよかった。どのようなことに注意して行えば良いのかよくわかりました。
- ・臼歯部の操作、チップの向きやミラーの使い方等をもっと良く聞ければよかったかなと思います。

#### おわりに

実習を行うにあたり、今後、実際に歯科衛生士として働くことを念頭において、自分が理解している事、出来ている事、出来ない事を把握、確認

しながら実習に取り組むように伝えた。また、口腔内診査、プロービングなど実習内容は項目ごとの時間を決めて行い、時間内に出来なくてもフィードバックして、できなかった理由や今後どう改善すればよいかを自分で考えて探し出すことを期待した。

患者さんの経験をすることでどんな気持ちだったか、どのようにすれば患者さんが気持ちよく受診できるかを改めて考えられたと思われる。また、今後は、患者さんへの声かけやコミュニケーションの大切さを理解してもらえるように努めたいと考える。

今回の実習で、学生たちの真剣に取り組む姿勢にとっても感心しました。また、アンケートでも多

くの声を受けたことで今後、学生が臨床実習へ取り組む姿勢が変わるきっかけになり、素晴らしい歯科衛生士になるように、かかわる私たちがサポートできるように努力していきたいと感じた。



カンファレンスの様子

## 食事を摂ることの大切さ

茨城県土浦心身障害者歯科治療センター

狩野 晴美、丸山 容子、村居 幸夫、  
征矢 亘、森永 和男

私事になりますが、今年の5月に腹部の疾患のために入院しお休みを頂きました。

今年3月霞ヶ浦医療センターにおいて、障害者・児歯科医療シンポジウムが開催され石黒先生の講演を聞き病院と歯科医院との連携の重要性を知り（入院が決まっていたので）入院中私の口腔内はどうなるのかなとぼんやり考えていました。

手術後、ICUを出て一週間経経口摂取が出来ない状態でしたので、食べることが好きな私には食事のアナウンスが流れるたびに無性に虚しくなり心が折れそうでした。改めて食事を摂ることの大切さを感じました。食事を摂れない期間もブラッシング、舌体操などの口腔のケアは行いましたが、食事を摂らず2日程経過したところで、舌

の状態が通常とは異なることに気付きました。普段はそれほど気にしたことのない舌苔が付いているのです。舌ブラシを使用してもなかなかとれず術後の痛みと重なりとても不快でストレスを感じました。

不思議に思いその後、調べたり聞いたりして、ロコモティブシンドロームや廃用症候群などの言葉を知りました。

ロコモティブシンドロームとは主に加齢による骨・関節・筋肉といった運動器の機能が衰えることにより、日常生活での自立度が低下し介護が必要になったり、寝たきりになったりする可能性が高い状態のことを言います。例えば、足腰が弱くなり立ったり歩いたりする移動が大変になってき

た状態もロコモです。

廃用症候群とは安静状態が長く続くことによっておこる様々な心身の機能低下を指します。例えば、手足を骨折すると骨折した側の手足が細くなってしまうのは典型的な廃用症候群で、骨折したことによってギブスなどで安静にした結果、患部の筋肉が委縮してしまうそうです。今までニュースなどでその言葉を聞いたことはあったとは思いますが、意識したことはありませんでした。自分が経験したことでもわかったのですが、食事をしないことによって口腔周囲の筋肉も全身の筋肉と同じように筋肉が委縮してしまうそうです。

食事は重湯から始まりましたが、楽しみにしていた食事のはずが食べることを忘れてしまったかの様に、重湯でさえ喉を通らずほとんど残してしまいました。重湯やお粥や最初のおかずは咀嚼が必要ない状態でした。また、熱を出して食事を摂れない日もあって（舌の体操は欠かしていませんでした）舌苔の

付着状態に変化のない日が続きました。

食事の形態が少しずつ上がりおかずが普通食になってくると、次第に舌苔の付着がなくなってきました。

咀嚼はもちろんのこと、食事をしっかり摂るという日常の当たり前のことが出来なくなり、初めて食事を摂ることの大切さを実感し毎日食べられることに感謝しています。

歯科センターには、障害者の患者さん以外に、介護度の高い患者さんや、機能低下の患者さんも来院します。自分の経験を少しでも生かせる様に自分に出来ることから患者さんと関わっていきたいと思います。

歯科衛生士の仕事は食事を摂ることに深く関わりを持っています。これからも、患者さんの口腔の機能の向上に関わっていけるように努力したいと思います。





## 第12回 警察歯科医会全国大会報告

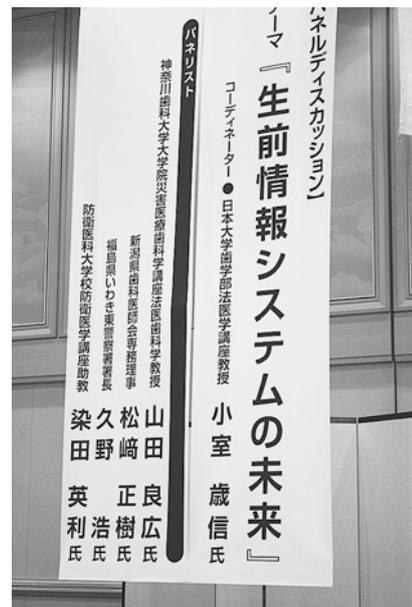
警察歯科医 小林 克男

第12回 警察歯科医会全国大会が、平成25年8月24日福島県郡山市において開催された。

メインテーマとして、「これからの身元確認について考える～東日本大震災を踏まえて～」が取り上げられ、特別講演として新潟県歯科医師会から松崎正樹先生が『生前歯科情報の標準化 身元確認の高度化・迅速化に向けて』、神奈川歯科大学から山田良広先生が『DNA鑑定の可能性と限界について』の講演を頂いた。

茨城県歯科医師会からは、会長、副会長をはじめ警察歯科医師、海保歯科医師、一般会員並びに茨城県警察本部鑑識課、茨城海上保安部救難警備課からの参加を含め18名の参加があった。

松崎正樹先生の講演では、生前歯科情報のデジタル化、死後情報のデジタル化によって、身元確認の高度化・迅速化が図れるが、そのデータの蓄積については、今回の震災においても混乱と、非常な労力を要した事の説明があり、今後のデータ採取に対し、マークシート方式のデータ入力をご



提案いただいた。デジタル歯科情報の収集について、電子カルテ情報を標準化し利用する実証事業が現在進んでいるとの説明があった。

山田良広先生のご講演では、現在のDNA鑑定の鑑定精度、方法について1990年代では考えられない精度での鑑定ができ、微量の試料でも鑑定が可



能とのご講演を頂いた。

私見であるが、生前歯科情報の標準化については、日頃よりカルテからデンタルチャートを起こす手間暇については、うんざりする時間がかかり、大規模災害時にはとても迅速な身元確認はできないと考えていた。もし、電子カルテ情報から生前の歯科情報が正確に取り出せ標準化できれば、歯科所見における個人識別が格段の高速化が図れると思う。しかしながら、各レセコンメーカーのデータは、互換性が無くこれを統一するこ

とは困難を伴うだろう。

今回の大会においては、警察、海上保安部からのご参加を頂き、茨城県歯科医師会との連携強化に繋がり有意義な大会であったと考えている。しかしながら、各都道府県の参加者の顔ぶれをみると、今後大きな自然災害の可能性を指摘される地域、過去に災害を経験した地域とそうでない地域では、参加者数に大きな開きがあり、地域による温度差を痛感した。



## 原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また支部や同好会・同窓会の様々な活動(研修会、厚生事業)など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯事務局まで。

E-mail [koho@ibasikai.or.jp](mailto:koho@ibasikai.or.jp)

広報委員会



## 【学校長訓話・交通安全講話】

7月24日（水）午前10時30分より茨城県歯科医師会館講堂において、夏休みあるいは9月からの臨床実習を迎えるにあたり、小鹿典雄学校長の訓話および水戸警察署交通第一課主査齋藤妙子氏による交通安全講話が行われました。

小鹿典雄学校長は、最初に「どのような時でも人の話を真摯な態度で聞くことが大切である」と述べられ、「夏休み期間中は各自が責任をもって行動し、健康管理、交通事故には充分注意して9月の始業を迎えてほしい」と訓話されました。



交通安全講話では、最近の茨城県内の交通事故の多さとその事例を示され、事故を防ぐためには、運転者は日頃からスピードは控えめにするとともに、常に「危険があるかもしれない」との意識を持って運転することが必要であると述べられました。ほとんどの学生が、既に運転免許を持っているか在学中に運転免許を取得する状況であり、交通安全への意識付けは重要だと感じました。

（文責 山田）

## 【東京歯科大学解剖学教室見学】

8月1日（木）に歯科衛生士科2年生51名が東京歯科大学解剖学教室の見学実習をさせていただきました。

朝、7時に貸切バスで学校を出発し10時に現地に到着しました。



阿部教授から口腔内の構造、摂食・嚥下の動きなど詳しい説明など約1時間の講義をいただきました。

解剖教室ではご献体に直接触れるという貴重な体験をとおして、人体に対する知識の再確認のみならず、人間の生命に対しても各々がそれぞれの思いを見つめ直す機会となりました。

病院見学では、規模の大きさ、充実した設備、また、臨床実習を目前に控えた立場で専門分野ごとに分かれ、それぞれの分野の特色に興味を示しておりました。手術室を見学させていただいた6名は、手術前の準備や手術室での注意事項、手術の流れなど詳しくご説明頂きました。



最後に、全員で標本室も見学させていただき、貴重なそして有意義な一日となりました。

(文責 菱沼)

## 【第1回・第2回体験入学】

高校生や社会人を対象に、7月31日(水)に第1回体験入学、8月21日に第2回体験入学を実施しました。

参加者は歯科衛生士科では総数91名でした。歯科技工士科では総数13名でした。昨年と比較しま

すと若干減少はしておりますが、参加者の多くが受験して下さることを期待しております。

歯科技工士科では、スライドによる義歯及び鑄造冠製作の説明や歯型彫刻・石膏柱の製作実習などを体験してもらいました。

歯科衛生士科では、バキューム、スケーリング、印象採得、細菌観察、染出しブラッシングを体験してもらいました。

緊張しながら一生懸命取り組む高校生がとても印象的でした。体験入学では歯科技工士科2年生、歯科衛生士科3年生が受付、デモ、学生生活についての説明等お手伝いして、参加者を温かく歓迎してくれました。

また、8020・6424情報センターや口腔センターの方々にも協力を頂き、それぞれの説明とともに施設などの見学をさせて頂きました。

参加者には3時間という短い時間でしたが、歯科衛生士・歯科技工士への進路決定につながってもらえることを願います。

(文責 菱沼)

## 電話相談のお知らせ

現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の3名の専門家と顧問契約を結んでおります。

顧問弁護士	大和田一雄氏	法律相談全般
医療アドバイザー	大曾根正幸氏	保険請求や各種届出などに関すること
社会保険労務士	皆川雅彦氏	従業員との労働契約、労務関連など

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



茨城県歯科医師会事務局

電話 029-253-2561  
FAX 029-253-1075



## 『まつりつくば2013』 参加報告

(社)茨城県つくば歯科医師会 山口 深恵

去る8月24日(土)25日(日)の2日間、つくば市の夏の風物詩『まつりつくば2013』に参加いたしました。今年は筑波研究学園都市建設の閣議了解から50周年目を迎えたことから、従来のイベントに加え、サイエンスシティーつくばの英知を結集した企画が多数催されました。茨城県でも風評被害の影響を受けており、来場者数の減少も懸念されましたが、今年も44万人の方が来場されてまつりを盛り上げていました。

今回も地域保健委員会が主体となってプロジェクトチームを結成し、20名の先生方でシフトを組みました。昨年に引き続き、鶴見尚史先生にお願いしてチームTシャツを作製して頂き、メンバー全員お揃いのTシャツでまつりに臨みました。T

シャツのサイズを決める時の先生方のいつになく真剣なご様子に、まつりに懸ける意気込みを見た気がいたしました(笑)。

まつりの数日前から大気不安定な状態が続いていましたが、初日は朝のうちに雨が上がり爽やかな風が吹く中、午前11時半に集合。荷物を搬入し、皆さん慣れている様子で手際よくセッティングを終えて、いざ本番を迎えました。今回も、昨年子供達に好評だったということで、リトマス試験紙を使った酸蝕症の実験と、新たにオーラルpHテストを実施しました。また歯ブラシ以外の補助的清掃用品の周知を目的に、ワンタフトブラシやフロス、歯間ブラシなどをご用意しました。お客様をお待ちしていると、やはり真っ先にテントに近づいて来てくれたのは子供達でした。リトマス紙の実験用に並べられたコップを覗き込みながら、「コレなに?やってみたい!」とさっそく赤と青のリトマス紙を手にとって、どの飲み物にしようか迷っている姿がとても可愛らしかったです。昨年はコーラを選んだ子が圧倒的だったのですが、今年は熱中症対策で奨励されているお茶やスポー



ツドリリンクを選んだ子が多く見られました。また今回は、試しにビールとワインを置いてみたところ、結構な確率でアルコールを選んだ子もいて、「これは誰が飲んでるの?」と聞くと、すかさず「パパ!たくさん飲んでるよ。」「ママ!」と声が返ってきます。すると後ろで子供達の様子を覗っていたご両親は、バツが悪そうに苦笑いされていました。唾液のpHを測定するオーラルpHテストにも皆さん積極的にご参加頂きました。ご自身のカリエスリスクや唾液緩衝能について資料をもとにご説明し、大変興味を持って頂くことが出来ました。

2日目は途中小雨が降る時間もありましたが、この日も盛況のうちに無事終了しました。お客さんが少し途切れた合間や休憩時間には、久しぶりにお会いした先生方と普段なかなか出来ない診療やプライベートの話に花が咲きました。私は古宇田道生先生の日々の子育てで奮闘ぶりに感心するばかり。イクメンパパ、これからも頑張ってください! 初日から吉田勝幸先生を待ち続けてブースに2日連続通い続けたおじさま、意中の



人にやっと会えて良かったです! (笑)

打ち上げの後、家族3人で年々迫力の増す勇壮で幻想的な『ねぶた』を見て帰路につきました。連日応援に駆けつけて下さった大野会長はじめ、チームの先生方、今年もお疲れさまでした!!





今年度より広報委員会に出向になりました。茨  
 菌会に入会して20年以上になりますが、支部も含  
 めて初めての委員会で解らないことばかりで、何  
 か初心に戻ったみたいで新鮮な気持ちです。だい  
 ぶ以前に県菌の委員になったときは、何の戦力に  
 も成っていなかった気がするので、今回は他の委  
 員の先生の足手まといにならない程度には頑張り  
 たいと思っています。

話は変わりますが、8月より2年半ぶりにゴルフ  
 を再開しました。震災以降は一度もクラブを振  
 る気になれずにいましたが、4月に大学生になっ  
 た息子がテレビ観戦でマスターズなどPGAツア  
 ーを観てからゴルフに目覚め、練習場デビューに  
 付き合いながら再開しました（記念にドライバー  
 も買っていました）。久々の練習場は球に当て  
 るのがやっとな運動不足からの筋肉痛との戦いにな  
 ってます。年末ぐらいにはコースに行き、来  
 年ぐらいには息子がコースデビューし一緒にラウ  
 ンド出来たらと思っています。

(松)

地区の広報委員として広報紙発行に係る事4年。  
 今季より県菌広報委員として活動する事となりま  
 した。至らぬ点が多々あるかと思いますが、先輩  
 委員の助けを借りながら、まずは1期2年無事に  
 努めていきたいと思っています。

さて、行きつけの理髪店の店長に勧められたド  
 ラマが[半沢直樹]。高視聴率で話題になっていた  
 事は知っていましたが、実際に見てみるとなかな  
 か面白い。「やられたらやり返す。倍返しだ。」「そ

れが私の流儀。」これらの決まり文句を耳にされた  
 先生もいるかと思います。

あえて父親の自殺の原因になった銀行に就職し  
 た半沢。融資した企業の倒産により5億円の焦げ  
 付きの全責任を背負わされてしまった。しかし、  
 ストーリーが進むにつれ、この倒産は融資した社  
 長の裏金作りと支店長の借金返済の為の計画倒産  
 といった新事実が明らかになる。最後には見事5  
 億円を回収すると共に、本店への栄転を勝ち取っ  
 た。8月25日放送日からは舞台を東京に移して更  
 なる試練に立ち向かう半沢。しかも今度は120億円  
 の回収！ ついには新聞の文化欄でも取り上げられ  
 ました。追い詰められながらも最後には逆転し、  
 悪者がひれ伏す展開は「現代版 水戸黄門」とい  
 った評価も書かれていました。判官びいきの日本  
 人向けのドラマと言えるでしょう。

ふと考えると、主演「堺 雅人」の演じるドラ  
 マ・映画を結構見ている事に気がつきました。主  
 な物を列挙すると、「ジョーカー 許されざる捜査  
 官」「南極料理人」「ジェネラルルージュの凱旋」  
 「リーガル・ハイ」。滑舌が良く、幅広い役柄を演  
 じられる役者です。この9月号を手取る頃には  
 ドラマは終了していますが、DVDやYouTube  
 でご覧になられてはいかがでしょうか。

さて、これで赤えんぴつデビューと思っていた  
 ところに、ビッグニュース。2020年オリンピッ  
 ク・パラリンピックの東京開催。どの競技を観戦  
 するか楽しみが増えました。

(hiro)

新しい材料や器具、治療方法を探しに、東京デンタルショーに行く機会があり、同じ日に旅博2013も開催されていたので、どんなものかとブラブラしてみました。

パンフレットには、『150を超える国と地域から集まった楽しい「旅の情報」がいっぱい』とあり、その通りでした。

名前だけは聞いたことがあるかな？という国がかなり有り、いかに無知かなと思知らされました。しかしそれぞれの国や地域には、魅力溢れるパンフレットや旅行プランが沢山有り、直ぐにでも旅行に行きたくなるものばかりでした。またパンフレットを、眺めているだけでもその場所に居るような臨場感あるものでした。

入場者達は若い方だけでなく、年金を受給している世代の方々も多く見受けられ、この世代は時間とお金がある世代？かなと、しかも男性より女性が多く、ここでもパワフルでした。

ステージでのパフォーマンスも、ハワイのフラ、アルゼンチンのタンゴ等あり、テレビの映像とは違い、本物の生の迫力あるステージが見られ、ちょっとした世界旅行気分を味わうことが出来、私も本物をこの目で観に行きたいなと思う日でした。

そのためには、仕事も体も充実していなくてはと、メタボのお腹を撫でる私でした。

「明日からの診療がんばるぞー」

(コスモッコ)

## 会員へのお知らせ

# 日本歯科医師会福祉共済制度について

### 1. 死亡共済金受取人順位の変更について

受給権者をあらかじめ指定した方で、結婚、離婚、再婚、死別などにより受給権者の状況に変更があった場合（指定の確認は茨城県歯科医師会までお問い合わせ下さい）。

### 2. 火災・災害共済指定物件の変更について

住宅及び診療所所在地の変更があった場合（変更届出前に火災、災害に遭われた場合、所定の共済金が支払われないことがありますので、変更時に必ずお届け下さい）。

※ これらの変更については、所定の様式がございますから、茨歯会事務局（TEL 029-252-2561：担当 根本）までご請求願います。

広告

# 医・歯学部現役合格 を目指して



本校卒業生



平成26年度入試 生徒募集

## 中学校160名・高校40名(新規)

本校は創立以来、毎年輝かしい進学実績をあげています。  
特に医学部・歯学部への合格率は、全国でトップクラスです。またそのほとんどは現役合格で、予備校にも通わず、学校の授業と補習のみで合格しているのが特徴です。

### 創立以来の輝かしい合格実績

医学部				歯学部				
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	
東京大学 理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	昭和大学	59	
北海道大学	2	自治医科大学	2	九州大学	2	愛知学院大学	13	
東北大学	5	産業医科大学	2	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	17	
名古屋大学	2	日本医科大学	36	新潟大学	2	北海道医療大学	42	
大阪大学	1	東京慈恵会医科大学	21	岡山大学	1	岩手医科大学	34	
九州大学	1	順天堂大学	50	広島大学	2	奥羽大学	102	
東京医科歯科大学	1	昭和大学	59	徳島大学	1	明海大学	141	
千葉大学	6	日本大学	71	長崎大学	2	神奈川歯科大学	77	
筑波大学	2	東京医科大学	52	鹿児島大学	2	鶴見大学	84	
群馬大学	5	東邦大学	80	九州歯科大学	4	松本歯科大学	80	
新潟大学	6	東京女子医科大学	13	東京歯科大学	66	朝日大学	33	
防衛医科大学校	10	獨協医科大学	129	日本大学・歯、松戸歯	137	福岡歯科大学	2	
上記以外、国公立18大学65名、私立17大学761名				日本歯科大学・生命歯、新潟歯				187

※数字は1982年～2013年度の延べ人数 ※順不同

学校・寮の見学は随時受付します。 入試室までお問合せください。

学校法人 秀明学園

全寮制

英国留学

全人英才教育

# 秀明中学・高等学校

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) <http://www.shumei.ac.jp>

秀明学園

検索



# みんなの写真館

Photo Gallery

(社) 東西茨城歯科医師会 小嶋 衛



朝 剣御前小屋の近くから剣岳を撮影



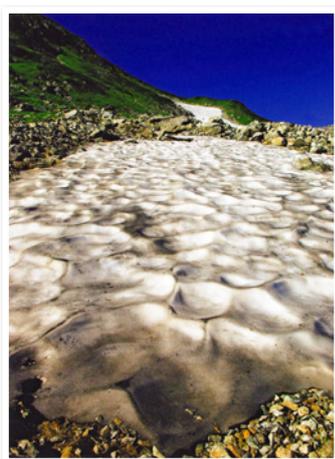
雪溪の雪がとけて水の流れが始め



雷鳥沢から見た奥大日岳



室堂から見た立山



立山から見た内蔵助カール

立山雄山に登る途中にあった雪溪



## 会 員 数

平成25年8月31日現在

支 部	会員数 (前月比)
日 立	121
珂 北	144
水 戸	155
東西茨城	73 +1
鹿 行	102
土浦石岡	174 -1
つ く ば	115 +1
県 南	180 -1
県 西	154
西 南	107
計	1,325 ±0

## みんなの写真館写真募集 !!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,138名  
 2種会員 41名  
 終身会員 146名  
 合 計 1,325名



**Ibaraki Dental Association**

公益社団法人 茨城県歯科医師会

## 茨 歯 会 報

発行日 平成 25 年 9 月  
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地  
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075  
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>  
E-mailアドレス [koho@ibasikai.or.jp](mailto:koho@ibasikai.or.jp)

発行人 征矢 亘  
編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。